

# 大五建設社内報

令和7年3月21日発行

～第130号～

編集:イメージアップ委員会

## <観音山と福寿草>

以前から気になっていた「高崎市染料植物園」に行ってきました。

白衣観音の裏に位置していて、展示施設には染料の見本や和服が時代に沿って飾られていました。(残念ながら撮影不可でした)

施設の外は様々な木々が植えてあり、散歩によかったです。丁度、福寿草が咲いていて黄色い花が地面を彩っていました。吊り橋を渡ると、20～30分で白衣観音の裏に繋がる歩道になっているので、良い運動になりました。(安藤淳)



## <降雪の朝>

3月5日、富岡市の辺りでは珍しく雪が積もりました。

私が出社すると、すでに渡辺社長、安藤淳一さん、五十嵐さんの三人が雪かきをしていました。当日は休日の営業部社員らも駆けつけて、みんなで会社前の歩道など周辺の雪を片付けました。

工事現場の雪かきをしてくれた社員や、雪を心配して会社の様子を見にきた社員もいて、とてもありがたかったです。

(萩野一)



## <山姥切国広>

刀剣として有名な山姥切国広(やまんばきりくにひろ)は足利市美術館にて保存と展示が行われています。

安土桃山時代に活躍した刀工・堀川国広が作った刀で1962年に重要文化財に指定されました。多くの物語や伝説に登場するこの刀は、武士道精神を象徴する存在として愛されてきました。また、美術品としても評価されていて、刀工の技術や芸術性を今に伝えています。

山姥切国広は刀剣文化の継承と発展に貢献し、多くの人々に日本の伝統の素晴らしさを伝える役割を果たしています。

(安藤金)



## <富岡実業高校企業紹介>

3月7日に富岡実業高校で開催された企業説明会へ参加いたしました。

弊社ブースは私と富岡さんの二人で参加いたしました。現在、高校2年生の生徒向けの説明会ということで、弊社の業務や特色を紹介させていただきました。

(萩野一)



## <ガザニア、その後>

再度の紹介となりますが、冬の寒さに耐え、ガザニアが凛と咲きました。

その小さな命が力を放つように、春を迎えて鮮やかさを取り戻しました。困難を乗り越える象徴のようです。

寒い季節を超えたつぼみが春の訪れで花開くのを見ていると、私の心もとても温かくなりました。

(安藤金)



## <小学生バレーボール新人戦>

先日、長女(10歳)、次女(8歳)が通っているバレーボールチームの新人戦がありました。

大きな相手にも負けずに、ボールを拾って繋げることができ、優勝することが出来ました。

子供達の頑張っている姿に感動いたしました。

(越田)



## <読書キャンペーン>

昨年12月23日から1月31日までの間、人材育成委員会の活動で「読書キャンペーン」が実施されました。

読書から遠のいていましたが、年末年始を利用し自宅で読書に励みました。普段はついつい、スマホを見てしまいがちですが、この時期はスマホから距離を置く事ができました。

今回の目標は2冊で、そのうち1冊は社員の「オススメ本」を選ぶことになりました。期間中、沢山読まれた方には賞品が渡されました。

自己研鑽のためにも、読書を継続していこうと思いました。

(安藤淳)

